

観光学・環境教育論研究室

教員名：深見 聡

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

観光現象や環境学習と地域社会の関わりについて、**フィールドワークや実践活動とおした研究**をしています。

本研究室では、とくに観光資源となる自然や歴史・文化遺産などの環境保全と住民意識に注目し、「**持続可能な地域づくりのあり方**」について、質的調査を中心とした方法(インタビュー調査・ライフヒストリー調査、参与観察など)からのアプローチをおこなっています。

地域環境の保全政策はさまざまな方法がありますが、観光現象から貢献する視点の研究は、**環境の保全と利用の適正化に関して地域づくりの現場で役立つもの**と考えています。

□ 研究室の主要な研究テーマ □

- (1) **世界遺産とエコツーリズム**の理念と現実
- (2) **ジオパーク**、**ジオツーリズム**と地域の活性化
- (3) **小規模島嶼**など**条件不利地域**における地域づくり
- (4) **ボランティア・ツーリズム**や**ダークツーリズム**、**災害復興と観光**といった、新しい観光の役割の可能性
- (5) **地域環境教育**と**コミュニティ形成**の関係
- (6) 日本をとりまく**地政学的課題**と地理教育の役割



薩摩硫黄島でのフィールドワーク



ゼミ合宿で広島へ



ゼミ(演習形式の授業)のようす

● 先輩はどんなところに就職しているの？

公務員(市役所・県警)、国立大学法人職員(事務職)、旅行・運輸、銀行、新聞社、コンサルタントなど民間企業となっています。

その他、引き続き大学院に進学し研究を深める学生もいます。